

～今後の管理のポイント～

- 小麦の追肥適期である減数分裂期は4月末の見込み！
- 赤かび病防除を徹底しましょう。
- 排水対策を徹底しましょう。

1 気象経過

- 気温は、2月第3半旬以降、平年並み～高温で推移しています。
- 日照時間は、2月第6半旬に一時少照となった後、3月第1～5半旬にかけて多照で推移し、以降は平年並み～少照傾向でした。
- 降水量は、3月第2～5半旬にかけて少雨傾向でしたが、3月第6半旬～4月第1半旬にかけて、多雨となりました。

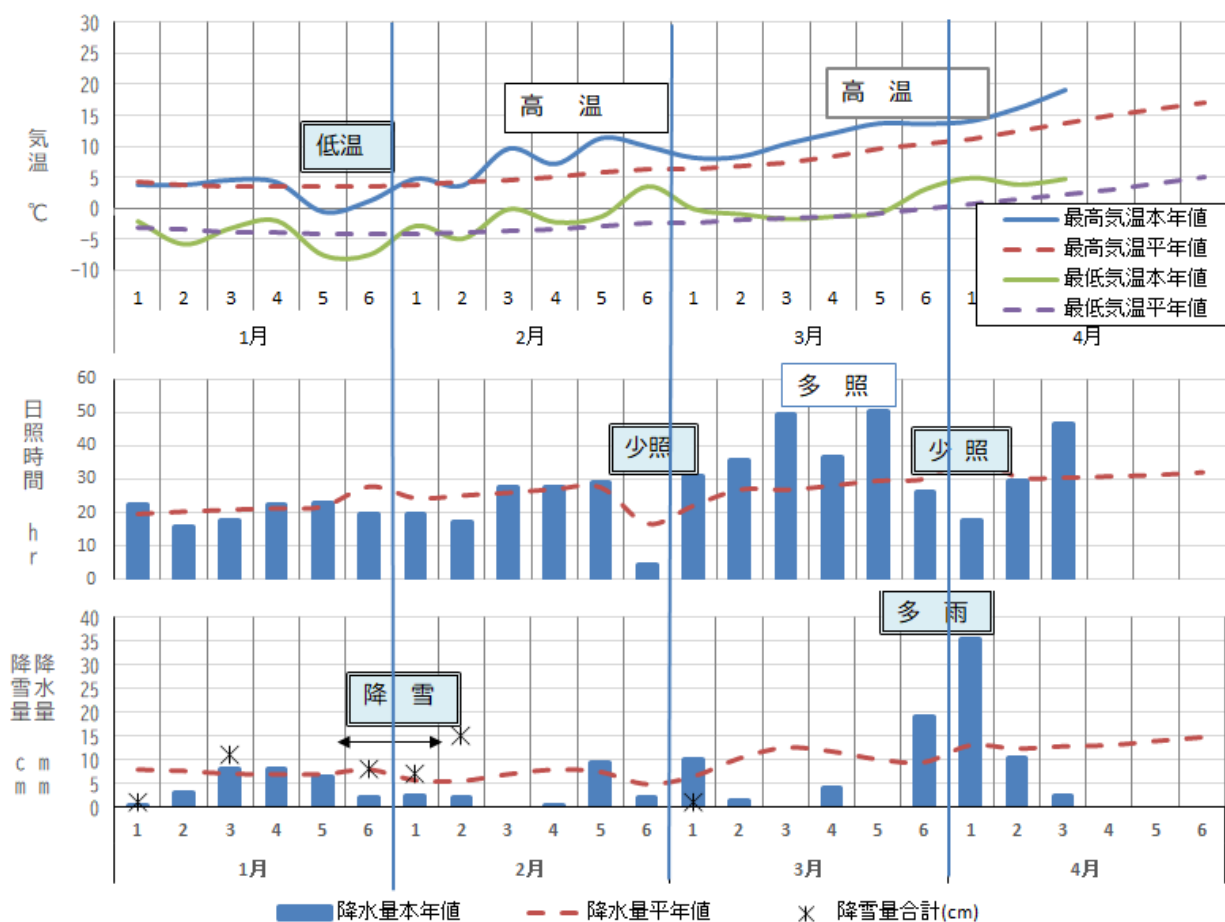


図1 気象経過 (古川アメダス)
 ※実線又は棒グラフが本年値、点線は平年値。

2 生育状況(4月9日現在)

○小麦「夏黄金」

- 4月9日の調査では、前作が乾田直播の草丈は19.4 cm、茎数は1,293本/m²と前回調査時(3月20日調査)から生育が進んでいます。
- 特に茎数は前回調査時から大幅に増加しており、分げつは1個体あたり5本程度発生しています。
- 幼穂長は、3.6 mmであり、幼穂形成始期を越え、茎立期を迎えています。
- 前作が子実用トウモロコシの草丈は19.5 cm、茎数は1138本/m²と前回調査時から生育が進んでいます。
- こちらも茎数は前回調査時から大幅に増加しており、分げつは1個体あたり4本程度発生しています。
- 幼穂長は、2.9 mmであり、こちらも、茎立期を迎えています。

表1-1 「夏黄金」生育調査結果

地区名 品種名	前作	比較	播種日	3/20						4/9					
				草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	幼穂長 (mm)	葉色 (GM値)	葉身窒素 濃度%※1	生育量 指数※2	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	幼穂長 (mm)	葉色 (GM値)	葉身窒素 濃度%※1	生育量 指数※2
古川 夏黄金	水稲乾田直播	本年	11/8	8.2	900	0.9	47.7	-	35.3	19.4	1293	3.6	36.1	-	90.5
古川 夏黄金	子実用 トウモロコシ	本年	11/8	8.8	1108	0.7	49.9	-	48.8	19.5	1138	2.9	37.9	-	84.0

○小麦「シラネコムギ」

- 生育量は、草丈は28.2 cm(平年比96%)と平年並、茎数は997本/m²(平年比88%)に止まるものの、葉色が47.1と前回調査より増加していることから、生育量指数は132.4となり、幼穂形成期の指標値86万を超えています。
- 幼穂長は3.1 mm(平年差-2.3 mm)で、節間伸長が始まり茎立期を迎えています。
- 一部ほ場ではスズメノテッポウやタネツケバナなどの雑草の発生が見られます。

表1-2 「シラネコムギ」生育調査結果

地区名 品種名	前作	比較	播種日	3/20						4/9					
				草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	幼穂長 (mm)	葉色 (GM値)	葉身窒素 濃度%※1	生育量 指数※2	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	幼穂長 (mm)	葉色 (GM値)	葉身窒素 濃度%※1	生育量 指数※2
古川 シラネ コムギ	小麦	本年	10/22	11.0	805	1.2	42.6	3.1	37.7	28.2	997	3.1	47.1	3.8	132.4
		前年差・比	3日遅い	89%	66%	-0.1	-5.6	-0.9	52%	100%	108%	-0.9	5.5	0.9	122%
		平年差・比	1日遅い	84%	73%	-0.1	-	-	-	96%	88%	-2.3	-	-	-

※1 葉身窒素濃度%は葉色からの推定値で、シラネコムギにおける期待値は幼穂形成期3.5%、減数分裂期2%

※2 生育指標はcm草丈×茎数/m²×葉色値(×万)で目安は幼穂形成期86万、減数分裂期155万

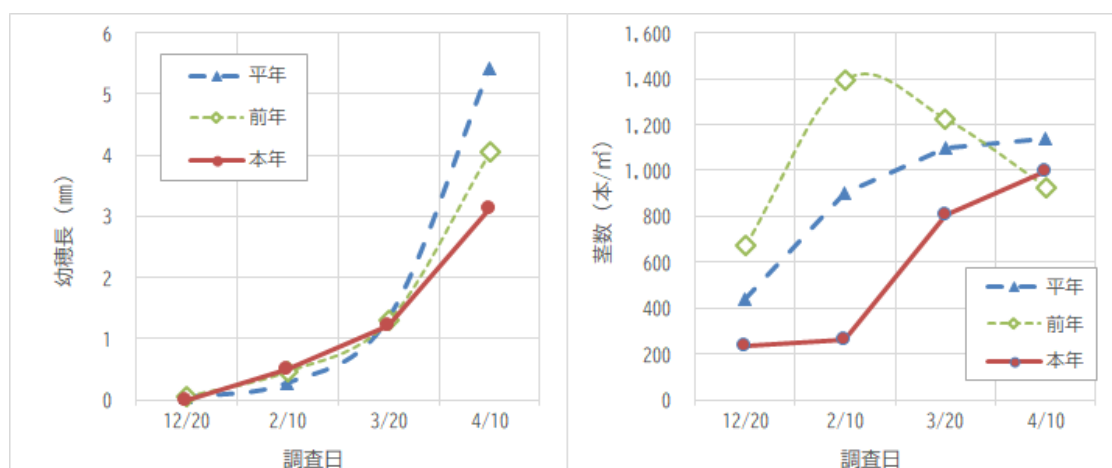


図2 生育調査ほにおける幼穂長(左)と茎数(右)の推移

3 今後の生育ステージの見通し

- 「シラネコムギ」の今後の生育ステージは、減数分裂期が平年より2日遅い4月29日頃、出穂期が5日遅い5月9日頃と予測されます（表2）。

表2 「シラネコムギ」幼穂長による生育ステージ予測

地区名 品種名	区分	播種日	減数分裂期	出穂期	開花期
古川 シラネコムギ	本年	10/22	4/29	5/09	5/18
	前年差	3	2	6	3
	平年差	0	3	5	3

※ 平年差は、過去5か年（令和3年～令和7年産）の平均値との比較

※ 普及に移す技術第97号表類の生育ステージ予測シートと気象庁2週間予測を基に予測

4 今後の管理

(1) 追肥

幼穂長や葉耳間長を確認し、適期の追肥を行きましょう。

ただし過剰追肥は加工適性が低下する場合がありますので、適正量を遵守願います。

「夏黄金」はパン・中華めん用小麦であるため、タンパク質含量を高めるために追肥は幼穂形成期・減数分裂期・穂揃期の3回が基本となります。

表3 「シラネコムギ」及び「夏黄金」の追肥判断の目安となる生育量と施肥量の目安

品種	追肥の時期	幼穂形成期 (幼穂長2～3mm)	減数分裂期 (幼穂長30～50mm)	穂揃期 (8～9割出穂)
シラネコムギ 夏黄金	目的	有効茎歩合増加 (穂数の確保)	一穂粒数の増加 登熟良化	子実タンパク質含有率 の向上
	追肥時期	3月下旬～4月上旬	4月下旬～5月上旬	5月中旬
シラネコムギ 夏黄金	N成分量 (kg/10a)	2.5	5	2.5
				5

表4 「シラネコムギ」及び「夏黄金」の追肥の現物施用量の目安

品種	種類	幼穂形成期	減数分裂期	穂揃期
シラネコムギ	硫酸の場合 (kg/10a)	11.9	23.8	11.9
	尿素の場合 (kg/10a)	5.4	10.9	5.4
夏黄金	硫酸の場合 (kg/10a)	11.9	23.8	23.8
	尿素の場合 (kg/10a)	5.4	10.9	10.9

【減数分裂期の判断方法】

減数分裂期の目安は、幼穂長がおおよそ30～50mmであり、止葉葉耳間長から幼穂長を推定し、減数分裂期の追肥時期の目安とすることができます。

「シラネコムギ」では「4～5割の茎が止葉葉耳間長±0mm以上に達したとき」が追肥の目安となります。

幼穂長	30mm	40mm	50mm
葉耳間長	-30mm	+3mm	+30mm
葉耳間長の形態的推移			

図3 「シラネコムギ」葉耳間長の形態的推移

(2)赤かび病防除

● 赤かび病とは？

赤かび病は、穂の一部あるいは全部が褐色となる病害です。発生源は、主に汚染種子内の菌糸や被害わら、こぼれた麦上に形成された病原菌（子のう殻）です。開花期が最も感染しやすく、開花期に降雨が多いと発生しやすくなります。

● 赤かび病の防除体系

赤かび病防除は2回の薬剤防除が基本になります。1回目の防除は「開花始期～開花期」、2回目の防除を「1回目の7～10日後」に行いましょう。2回防除後に降雨が続く場合は、蔓延のおそれがあるため追加防除を行いましょう。

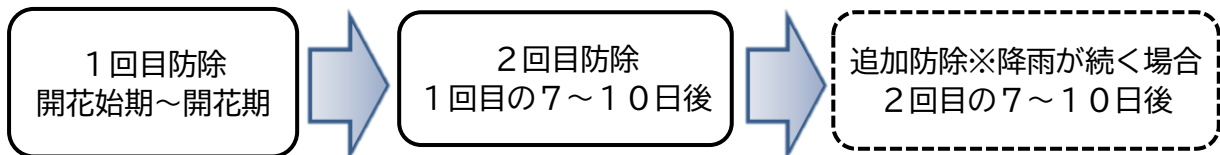


図4 赤かび病防除体系

※ なお「夏黄金」は赤かび病抵抗性が「中程度」なので、3回防除が必要です。

(3)排水対策

麦は湿害に弱い作物です。節間伸長期から登熟期にかけては特に要注意で、一般に地温が上昇してからの被害は大きくなります。ほ場に水を停滞させないように排水対策を徹底しましょう。

- 明きよ…手直し、管理機等で溝を作り、排水口まで繋げましょう。
前作水稲ほ場では、稲わらが排水口に詰まっていないか確認しましょう。
- 暗きよ…栓が閉じられていないか再確認しましょう。
- 湿害の影響
 - 節間伸長期～出穂
根の機能障害、弱小分げつの枯死、穂数の減少、穂の縮小化
 - 出穂期以降
稈の伸長抑制、粒の充実不良のため千粒重が軽くなり、収量・品質が低下

東北地方 1 か月予報

(4月18日から5月17日までの天候見通し)

令和8年4月16日 仙台管区气象台発表 ※抜粋

<予想される向こう1か月の天候>

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。特に期間のはじめはかなり高くなる見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	10	30	60
【降水量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	40	30	30

<気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	20	30	50
3～4 週 目	東北地方	20	40	40

◆◆◆◆春の農作業安全確認運動（令和8年3月1日～6月30日）◆◆◆◆

スローガン 「徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策」

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

